

# 海事産業におけるデジタルツインと データプラットフォーム

2018年12月10日（月）9:00~18:00（18:20~: ClassNK バンケット）

開催場所：海運クラブ（東京都千代田区） <http://kaiunclub.org/access.html>

主催：日本船舶海洋工学会

後援：一般財団法人 日本海事協会



## 開催趣旨：

近年のセンサー技術、通信技術、データ処理技術の進歩により多量のデータを取得し、処理することができるようになってきた。海事産業においてもこの技術動向をいかに利用するかは将来に向けて非常に重要な課題となってきた。本フォーラムでは、これらの動向から、デジタル化、自動化船、データプラットフォーム、デジタルツインなどをキーワードとして、最近の動向、取り組みを紹介し海事産業の将来に向けた展望を得ることを目的とする。

参加方法：学会Webからお申し込み下さい

<https://www.jasnaoe.or.jp/en/conference/symp/wnf2018.html>

参加費：事前登録 10,000円 (2018/11/19迄)

一般 12,000円 学生 3,000円 ※バンケット代含む

言語：英語

## プログラム

### 9:00-9:40 挨拶・基調講演

海事分野のデジタル化に関する最近の海事施策  
デジタル時代の海事産業

国土交通省海事局 宮武 宜史 氏  
東京大学 名誉教授 大和 裕幸 氏

### 9:40-13:20 セッション1: デジタルツイン（途中 20分間のコーヒーブレイク）

デジタルツインが可能にする自律運航  
GEの産業デジタル変革への取り組み  
実海域における船舶性能把握に向けて  
デジタルツイン実現の技術課題  
船型/プロペラ開発におけるデジタル化  
商船三井のスマートシップ戦略  
海技研のデジタル化関連研究の取り組み  
造船現場におけるデジタル化の取り組み

Kongsberg Digital, Dr. Christian Møller  
GE Digital Solution, Mr. Mayoran Rajendra  
海上技術安全研究所 辻本 勝 氏  
東京大学 村山 英晶 氏  
ジャパン マリンユナイテッド株式会社 犬飼 泰彦 氏  
(株)商船三井 芦田 哲郎 氏  
海上技術安全研究所 間島 隆博 氏  
横浜国立大学 満行 泰河 氏

### 14:50-16:30 セッション2: データ・プラットフォーム

Veracity - Leveraging the true opportunities of your data  
建設プロセス変革のためのIoTオープンプラットフォーム  
LANDLOGの取り組みについて  
海事産業における船舶3D情報の高度利用のための  
情報共有基盤 SPEEDSの概要  
ClassNKのデジタル戦略と  
ShipDC IoTオープンプラットフォーム

DNV GL- Digital Solutions, Mr. Magnus Lande  
LANDLOG 井川 甲作 氏

広島大学 濱田 邦裕 氏

日本海事協会 有馬 俊朗 氏

### 16:50-18:00 パネルディスカッション: デジタルツインとデータ・プラットフォームの課題

ファシリテータ：株式会社MTI 安藤 英幸 氏， パネル：セッション1及び2の講演者より

### 18:20-20:00 ClassNK バンケット

問い合わせ先：公益社団法人 日本船舶海洋工学会

電話 03-3438-2014 FAX 03-3438-2016 Email : [office@jasnaoe.or.jp](mailto:office@jasnaoe.or.jp)